



石ころアート職人

真剣な表情で作品づくりに没頭する一良さん。一つ一つ微妙に形が違い、温もりにあふれている。※このページは、先月号に登場した中村美玉さんが取材・編集した記事が基本となっています。

2年前、十二指腸潰瘍をわずらい、生死の境をさまよったという氣田一良さん。人なつこい印象。健康的な笑顔は、とても大きな病に苦しんだように見えない。

「病が治り、時間に余裕ができるたんです。リハビリのために何か始めたところアートの世界と出会いました。初めて作品を作ったとき、我ながらうまくできたあと感心してしまつたんですね。これなら自分にも続けられるかなと、いつかにはまってしまいました」。

絵心はないと笑う一良さんだが、石ころや木片に描かれた表情は、どれも生き生きとしていて、今にも動き出しそうに見えるほど。

今では、すこやか大学の学生に石ころアートの魅力を教える講師として活躍したり、小学生を相手に先生になつたりと、活動の場を広げている。

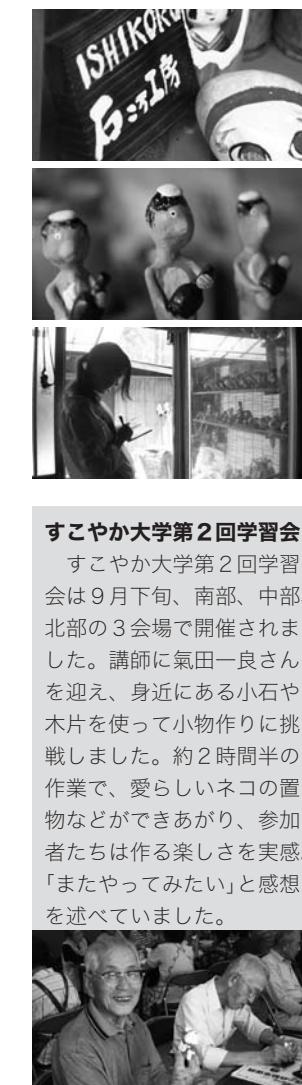
自宅兼作業場にはしおちゅう近くの子どもたちが顔のぞかせる。所の子どもたちが顔のぞかせる。と評論家のようなアドバイスをしていく。「子どもたちはみんな孫みたいんだよ。良い刺激を与えてくれるし、一人一人が先生みたい。かわいいんだよ」と一良さんは笑う。玄関先には「石ころ工房」と名付

けられた展示スペースがあり、ガラスケースの中にはいくつもの作品が並べられている。玄関を入ると同様のケースがすぐ脇に鎮座し、さながら家じゆうで展示会を開いているよう。普段、時間がある時に作っているんだけど、夜出来栄えが気になつて起きてしまうこともあります。寝ぼけて作業していたら、作品の足を逆に付けてしまったこともありますよ」と苦笑いした。

これら作品の数々は、大井川の石を使って作られるため、大きさや形が全て異なる。できあがった作品もしかり。同じように見えても、全て微妙に違うのが特徴だ。

「同じものを作ろうと思つても絶対にできません。それが石ころアートの面白さ。世界に一つだけの作品ができるって何よりの魅力なんですね。でも石ころアートは、まだまだ認知度が低いと感じています。これから作品を作る仲間の輪を広げ、展示会なども開きながら認知度を上げていきたい。そうやって、いずれ石ころアートが『民芸品』として認められるようになつたら最高ですね」。

石ころに見せられた一良さんの笑顔は、生きがいを見つけた喜びにあふれていた。



すこやか大学第2回学習会  
すこやか大学第2回学習会は9月下旬、南部、中部、北部の3会場で開催されました。講師に氣田一良さんを迎え、身近にある小石や木片を使って小物作りに挑戦しました。約2時間半の作業で、愛らしいネコの置物などができるが、参加者たちは作る楽しさを実感。「またやってみたい」と想を述べていました。

# 氣田一良さん

かずよし

(下泉)

## リハビリで始めた石ころアート

2年前、十二指腸潰瘍をわずらい、生死の境をさまよつたという氣田一良さん。人なつこい印象。健康的な笑顔は、とても大きな病に苦しんだように見えない。

「病が治り、時間に余裕ができるたんです。リハビリのために何か始めたところアートの世界と出会いました。初めて作品を作ったとき、我ながらいかつて思つていたところで、石ころアートの世界と出会いました。初めて作品を作ったとき、我ながらうまくできたあと感心してしまつたんですね。これなら自分にも続けられるかなと、いつかにはまつてしましました」。

絵心はないと笑う一良さんだが、石ころや木片に描かれた表情は、どれも生き生きとしていて、今にも動き出しそうに見えるほど。

今では、すこやか大学の学生に石ころアートの魅力を教える講師として活躍したり、小学生を相手に先生になつたりと、活動の場を広げている。

自宅兼作業場にはしおちゅう近くの子どもたちが顔のぞかせる。所の子どもたちが顔のぞかせる。と評論家のようなアドバイスをしていく。「子どもたちはみんな孫みたいんだよ。良い刺激を与えてくれるし、一人一人が先生みたい。かわいいんだよ」と一良さんは笑う。玄関先には「石ころ工房」と名付

けられた展示スペースがあり、ガラスケースの中にはいくつもの作品が並べられている。玄関を入ると同様のケースがすぐ脇に鎮座し、さながら家じゆうで展示会を開いているよう。普段、時間がある時に作っているんだけど、夜出来栄えが気になつて起きてしまうこともあります。寝ぼけて作業していたら、作品の足を逆に付けてしまったこともありますよ」と苦笑いした。

これら作品の数々は、大井川の石を使って作られるため、大きさや形が全て異なる。できあがった作品もしかり。同じように見えても、全て微妙に違うのが特徴だ。

「同じものを作ろうと思つても絶対にできません。それが石ころアートの面白さ。世界に一つだけの作品ができるって何よりの魅力なんですね。でも石ころアートは、まだまだ認知度が低いと感じています。これから作品を作る仲間の輪を広げ、展示会なども開きながら認知度を上げていきたい。そうやって、いずれ石ころアートが『民芸品』として認められるようになつたら最高ですね」。

石ころに見せられた一良さんの笑顔は、生きがいを見つけた喜びにあふれていた。

## 人権問題講演会を開催 12月13日焼津市ミュージコ

静岡県中部健康福祉センター

人権週間（12月4日～10日）の機会に、県民一人一人が人権を尊重する大切さについて理解を深めるため人権問題講演会を開催します。

**日時** 12月13日火 午後1時30分～

**場所** 焼津市大井川文化会館ミュージコ（焼津市宗高888番地）

**講師** 中野佐世子（NHK手話ニュースキャスター、手話通訳士）

**テーマ** 「心のバリアをはずして」

**入場料** 無料

**対象** 民生委員・児童委員、人権擁護委員、市町および社会福祉協議会職員、教育関係者、一般県民など約900人

**【問】** 県中部健康福祉センター地域福祉課 ☎ 054（644）9274

み捜査をすると「そういえばあの時、こんな音を聞いた」「こんな人を見た」といった情報が寄せられます。もしその時に110番通報をしていただいているれば…。通報が早ければ早いほど被害者を助け、また犯人を捕まえることができます。「何だろう」「事件かな」と思つたら、深夜早朝を問わず、110番通報してください。

島田警察署管内では、深夜、一般のお宅を狙つて侵入する窃盗事件や振り込め詐欺など、日々さまざまな事件が発生しています。皆さんから寄せられる情報が事件解決の手がかりです。何か気になることがあつたら、迷わず島田警察署にご連絡ください。

【問】島田警察署 ☎ (37) 0110

## 屋外広告物はルール守って 島田土木事務所から

島田土木事務所

屋外広告物とは、屋外で不特定多数の人に向けて、常時または一定期間継続して表示される、看板。広告塔、はり紙、はり札類、のぼり旗、立て看板類や、建物に書かれた広告などをいいます。

古くて倒れそうな看板がある場合、倒壊や落下による事故を防ぐため、定期的に安全点検を実施してください。高さが4mを超える広告物については、管理者の設置が義務付けられています。

⑥許可の有効期限が切れるときは

引き続き表示・設置するときは、更新の手続きをとつください。表示の必要がなくなったときは、速やかに撤去してください。

## 屋外広告物担当窓口は次の通り

①屋外広告物の許可手続きなどに関しては「土木事務所の都市計画課」

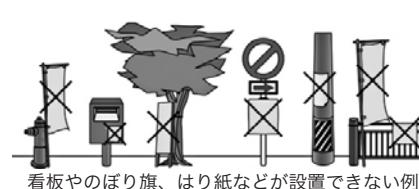
②屋外広告業の登録手続きなどに関しては「土木事務所の都市計画課」または「県の都市計画課」

【問】島田土木事務所都市計画課

☎ (37) 4181  
県交通基盤部都市局都市計画課

☎ 054（221）3490  
静岡県屋外広告協会

☎ 054（252）5222  
茶娘ちゃんカード会



## 引換券

交換期間

11月20日㈰～11月29日㈫

コピー不可

## 引換券

交換期間

11月20日㈰～11月29日㈫

コピー不可



ここにも、一つの物語。

広報かわねほんちょう